

しんめいばら

回 覧

第 120 号
2015.4.16

定期整備!

四月十二日(日) 今期最初の整備を行いました。昨年に引き続き子供会に毎月交代制でお手伝いをしていただけることになり、今回は総勢二十六人の参加で雨続きで花壇一面に伸びた雑草の除草、グリーンバンクより配布をいただいたサルビアなどの播種、グラジオラス球根の植付け、花壇への施肥作業などを行いました。熱心な子供さん達のお蔭で予定作業を短時間で終了することが出来ました。これから一年間楽しい活動を続けましょう。



これは雑草かな!



花壇コンクール!



初めての「優秀賞」!

静岡市花と緑のまちづくり協議会主催の「第十回花壇コンクール」に応募し、今回初めて「優秀賞」を受賞し四月十八日東静岡広場にて表彰式が行われました。子供さん達と一緒に植えた花壇が表彰され、会員共々大いに喜ぶことが出来ました。愛護会の設立以来早十年が経過しましたが、これからも地域住民の絆を更に深めるため、公園の美化・緑化活動に力を注ぎたいと思います。

豆知識!

日本の風景の美しさ

明治に日本を訪れた外国人、アーネスト・サトウは日記に書いている。「静岡の郊外の山は頂上まで段々畑として丹念に耕作され、他では見られない景色となっていて、外国人としていつまでも忘れられない日本の思い出の景色となるだろう」と。また、同じころに訪れた外国人は、日本の庶民の家庭がどんなに貧しくても玄関先や庭にちょっとした花を植えて楽しんでいるのを見て世界に類のない花好きだと褒めたたえた。長く鎖国をとおしていた極東の国に足を踏み入れた西洋人たちは、長崎、敦賀、江戸などの港に着岸する前から風景の美しさに感動を隠さなかった。長崎は世界の三大美港に勝ると書き記している。美しい日本の花風景を大切にしたいと思います。写真は屋根にイチハツが植えられた江戸近郊の農家。『逝きし世の面影』(渡辺京二)より。



今日の公園!



チューリップ満開!

お知らせ!



- 五月の公園整備は三日(日)です。種から発芽した苗をポットに移植する作業などを行う予定です。
- 五月の回収、ピン・缶は二十六日(火)、古紙は二十四日(日)です。
- ミニ新聞「しんめいばら」が百二十号となりました。創刊以来十年多くの皆様にご支援、ご愛読をいただき改めてお礼申し上げます。今後も可能な限り続けたいと思いますので宜しくお願い致します。